

学びの広場

各種施設での事業(その3)

今回は「店屋場地域集会所」で行われている「店屋場なごみの会」の事業の一端を紹介いたします。

店屋場地域集会所は川音川左岸、店屋場公園の横に平成11年に開館しました。

「なごみの会」の紹介 「店屋場地域集会所」

「なごみの会」は、平成19年に発足しました。60〜70代の人たちが毎回25人ほど集まり、学習したりおしゃべりを楽しんだりしています。ここでは、去る9月15日と11月15日に実施した様子を紹介いたします。



大型紙芝居の実演

サンポーニヤという縦笛やボンボという太鼓の音に加えて、照明も取り入れて、とても幻想的な雰囲気の中で紙芝居が演じられました。大きな紙芝居なので、後ろで見ている人にもよく分かりました。

南足柄の人のおしゃべり

場所を和室に移してこの日見学に来られた南足柄市いずみ地域福祉会の人たちのおしゃべりが始まりました。43人も人が一堂に集まったので、研修室が狭く感じられました。

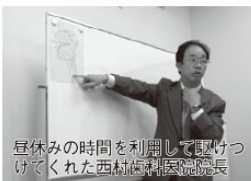


お茶を飲みながらおしゃべり

② 歯科医西村院長さんの出前講座

「誤嚥を防ぐためには」

65歳以上の高齢者の場合、平成21年度現在、交通事故による死者よりも、のどに物を詰まらせて「誤嚥」亡くなる方が2倍以上多いとのこと。原因としては、喉頭の位置の低下や唾液の減少など様々な老化現象であることを、図を用いて分かりやすく説明されました。また、日頃から注意しながら食べると同時に、万が一詰まらせてしまったときの対処法についても、実技を交えて解説されました。西村院長さんに引き続き、石橋歯科衛生士さんによる講演が始まりました。



昼休みの時間を利用して受け付けてくれた西村院長

「歯磨きを見直そう」

実際に水を飲んだりしながら、口の動きを説明されました。おいしい物を食べる時は、無意識のうちに舌でひっくり返して味わって食べていることには、皆さん驚いていました。その後、歯ブラシ、手鏡などを使いながら歯磨きの仕方を指導されました。



▲模型で指導する石橋先生

輪になって踊る



和服姿の柏木先生を講師に「松田音頭」「炭坑節」「東京音頭」を参加者全員が輪になって踊りました。

おしゃべりと全員合唱

今回も踊りの後は、見学にみえた町福祉コーデイネーターを交えてのおしゃべりがありました。最後に、手作りの歌集を手にした「里の秋」小さい秋みつけたなどを歌っていました。毎回、季節に合った歌を歌っているとのこと。

③ 地域の生涯学習推進の拠点として

生涯学習時代を迎え、住民の方の学習意欲はますます高まり、内容も多様化・高度化してきています。

なごみの会では、木工が得意な人に台本を作ってもらい、会員が「文字」文字書き、みんなで看板を作りました。また、絵が得意な人が中心になり手作りの歌集を会員分作りました。このように地域集会所を活用して住民一人ひとりの個性や才能が活かされ、地域住民に密着した事業が展開されています。



▲店屋場地域集会所

① 大型紙芝居の実演

研修室で、公民館登録団体児童文化の会「ゆうゆう」による切り絵や紙芝居が披露されました。

手拍子に合わせての切り絵

アドリブ満点のトークと共に、お客さんの希望を採り入れながら「お団子」や「スキ」などを次々に切り抜いていき、見事な「お月見」が完成しました。



切り絵の実演

スポーツ大会の結果

第27回町民インディアカ大会

日時	11月28日(日)
場所	町体育館
主催	松田町体育協会
参加	12チーム65人
優勝	湯の沢Aチーム
準優勝	仲町屋レクレーション
第三位	神山ルイジ
敢闘賞	フレッシュユC



「試合の状況」
この大会は、昨年から参加者が少しずつ変化しています。特に、幼い子どもを抱えるお母さん方の参加が目立ち、参加者以外の応援者が多数集まるなど、盛り上がりがあった大会でした。結果は、日頃の練習の成果を発揮された60歳以上の最年長チームが優勝を飾り、来年の大会は、更に参加チームが増えそうな魅力ある大会です。

足柄上郡小学校連合体育大会

10月27日に足柄上郡の小学6年生全員が参加する体育大会で、松田町から多数の優秀な成績を収めた児童がいるなか、松田小学校から2名の部門別の優勝者がいました。



氏名	小澤千智さん	饒平名真結さん
種目	800m	ソフトボール投げ
記録	2分55秒6	39m